

基本施策 5-① 農観商工連携による地域産業の活性化

現状

わたしたちの住む那須塩原市には、那珂川・箒川などの清流や緑豊かな森林、豊富な温泉などがあり、また、豊かな自然環境を背景とした農畜産業が盛んな地域です。

それらの地域資源を活用し、国が提唱する農商工連携事業に「観光業」を加え「農・観・商・工の連携」による地域経済の活性化を目指しています。地域資源・経営資源を有機的に結びつけることによる地場産の新商品の開発、ブランド化および地産地消*拡大、さらには地域外への販路開拓などを推進するための調査研究が始まっています。



那須塩原ブランド品



那須塩原ブランド認定マーク

課題

- ・ 地域資源の掘り起こしと活用
- ・ 異業種の連携による新しい商品・サービスの開発

目指すべき方向

- (1) 那須塩原らしさを持った商品開発と販路拡大
- (2) 那須塩原ブランドの確立
- (3) 既存地域資源の有効活用

基本施策 目標指標

市民満足度

基準値（平成22年度）

47点



目標値（平成28年度）

52点

※市民満足度は、「満足している」100点、「やや満足している」75点、「どちらともいえない」50点、「やや不満である」25点、「不満である」0点とした時の全回答者の平均得点

具体的な施策

(1)-1 農業の6次産業化の推進

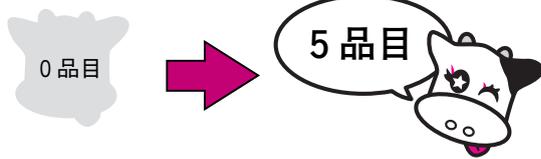
農業の6次産業化*を推進するため、農観商工の各産業が連携し地元農産品を活用した魅力ある商品づくりとその販路の開拓などに努めます。

主要事業 農観商工連携推進事業

目標値 地元農産品を活用した商品開発数

現状(平成22年度)

目標(平成28年度)



(2)-1 魅力ある地域ブランドの創出

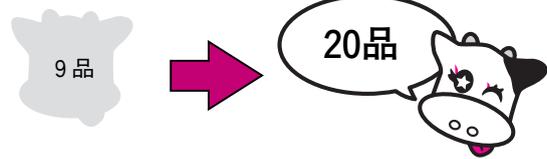
「那須塩原らしさ」「独自性」「信頼性」などの認定基準に基づき、那須塩原ブランドを認定します。また、認定者と連携し販売促進に努め、那須塩原ブランドを通じて那須塩原のイメージアップを図ります。

主要事業 那須塩原ブランドPR事業

目標値 那須塩原ブランド登録数

現状(平成22年度)

目標(平成28年度)



(3)-1 地域特有資源の活用

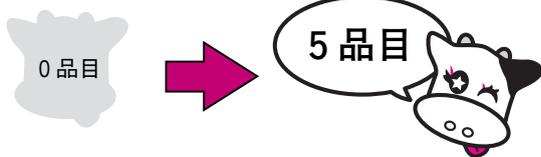
堆肥センターで作られた堆肥を地元農業者が活用し、それにより生産された農作物を商工業者との連携により加工・販売を行い地産地消に努めるとともに、地域外への販路拡大を目指します。

主要事業 農観商工連携推進事業（再掲）

目標値 地元農産品を活用した商品開発数

現状(平成22年度)

目標(平成28年度)



自然と共生する
まちづくり

快適で潤いのある
まちづくり

健やかに安心して暮らせる
まちづくり

安全で便利な
まちづくり

活力を創出する
まちづくり

豊かな心と文化を育む
まちづくり

創意と協働による
まちづくり

*地産地消：「地域生産－地域消費」の略。地域で生産された農産物や水産物をその地域で消費すること。

*6次産業化：第1次産業である農業に、第2次（加工）、第3次（流通・小売）を組み合わせることで（1+2+3=6）、付加価値の高い産業にしようとする農業形態。